

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	伴奏法	担当者名	三上ゆかり
授業の概要	福祉施設で音楽活動を際、参加者が歌いやすい伴奏を弾けることを目指し、歌にふさわしい基本的なコードをつけながらキーボードで演奏できるようにする。授業内で練習時間を設けながら、その間個々の指導を行う。				
科目の到達目標	正確な読譜ができ、歌の旋律を弾けること。 基本的なコードを理解し、右手で旋律を弾きながら左手でコードを弾けること。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40) ⑧実践力(30) ⑨主体性(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	授業で取り上げた歌の旋律・コードを確認し両手で演奏できるよう、毎日40分程度の継続的な練習が必要である。				
フィードバックの方法	毎回の授業で各自の習得状況を確認する他、定期的に演奏発表(試験)を行う。				
単位認定の要件	授業で取り上げたすべての曲を、途中つまづくことなく旋律とコードでの伴奏を弾けること。				
評価の方法・割合(%)	課題への取り組み・練習30% 演奏発表試験70%				
履修上の注意事項	音楽療法関連科目履修証明書希望者は履修すること。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			ト音記号の読譜及びハ長調の基本コード(C F G)を学習	⑥ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
2			CFGコード確認。「ふるさと」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
3			「ふるさと」を両手で弾く。「紅葉」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
4			「紅葉」を両手で弾く。「赤とんぼ」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
5			「赤とんぼ」を両手で弾く。イ短調の基本コード(Am Dm E)を学習	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
6			学習した3曲を演奏発表。「四季の歌」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
7			「四季の歌」を両手で弾く。「赤い靴」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
8			「赤い靴」を両手で弾く。「荒城の月」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
9			「荒城の月」を両手で弾く。 2回目の演奏発表の練習	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
10			学習した3曲を演奏発表。「知床旅情」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
11			「知床旅情」を弾く。「青い山脈」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
12			「青い山脈」を弾く。「上を向いて歩こう」の読譜・コード・指使い提案	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
13			「上を向いて歩こう」を弾く。 3回目の演奏発表の練習	⑥ ⑧ ⑨	机間巡視・ミニッツペーパー
14			学習した3曲を演奏発表。 授業で弾いてない歌のコード等確認	⑥ ⑧ ⑨	ミニッツペーパー
15			ト長調(G C D)、ハ長調(F B♭ C)のコードを学習。歌の紹介。	⑥ ⑧ ⑨	ミニッツペーパー
期末試験					

使用テキスト	音の出会い 石川音楽療法研究会:音楽チーム編著(ドレミ楽譜出版社)
参考文献 参考URL	心に届く高齢者の音楽療法 師井和子著(ドレミ楽譜出版社)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--